

プロテインアレイ受託解析サービス

VirD™ Membrane Protein Array

受託解析サービス

本解析では膜タンパク質を発現したVirionを搭載したVirD™アレイを用いて、膜タンパク質との相互作用を網羅的に検証することができます!!

現在、FDAに認可されている医薬品の40%がGPCRを標的としています。

そのため、GPCRを多く搭載するVirD™アレイは創薬研究や機能性アッセイなどに有用な解析サービスです。

VirD™アレイの特長

膜タンパク質を発現したVirionはアレイへのプリント前に、抗V5タグ抗体およびre-sequenceによる発現タンパクの確認されます。アレイへのプリント後には、抗glycoprotein Dを用いて、アレイ上のVirionが確認されます。VirD™の搭載タンパクについては、右QRコードまたはURLよりご確認ください。また、VirD™アレイには以下の4つの特長が挙げられます。

- ✓ HSV-1 Virionの膜表面上に標的タンパクを発現
- ✓ ヒトGPCRを含む500以上のユニークな膜タンパク質を搭載
- ✓ HSV-1 Virionはヒト細胞株に感染させたのちにアレイ上にプリントされる
- ✓ PTMはヒト由来のため、正確な膜タンパクの構造を持つ



正確に折りたたまれ、機能的な膜タンパクがアレイ上に搭載されています

<https://cdi.bio/antigen-vird-service/>

アプリケーション例



抗体特異性プロファイリング

- ： 抗体の結合膜タンパクの探索抗体、
- ： 抗体の標的分子が既知の場合オフターゲット探索に有用です。



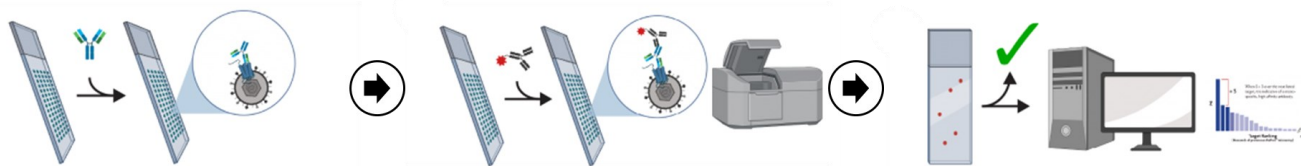
タンパク質相互作用プロファイリング

- ： 結合タンパク・ペプチドの探索
- ： 既知リガンドのオフターゲット探索に有用です。

抗体サンプルの場合、IgM, IgG, IgG1, IgG2, IgG4, IgA, IgA1, IgA2, IgD, IgEが解析可能なアイソタイプとなります。

ワークフロー例

1. 抗体サンプルは希釈され、アレイと反応させることで抗体サンプルとアレイ上のHSV-1上に発現している膜タンパク質へ結合します。
2. アレイスポット上の抗体サンプルは、蛍光標識された二次抗体などにより標識され、アレイスキャナーにより蛍光強度データを取得します。
3. ライブラリアイル (.gal) は、スポット読み取りファイル (.gpr) の画像にアライメントされ、取得した画像データからスポットQCが行われます。スポットQCが行われたのち、解析サンプルと結合した標的膜タンパク質の結合性スコア (Z-score) が得られます。



※ 弊社が提供する解析サービスは研究用途のみとなっており、の医療・診断および食品や医薬品の製造・品質管理等への利用はできかねますこと、予めご了承ください。

フィルジェン 株式会社



代理店

【お問い合わせ】 受託解析部

TEL : 052-624-4388 FAX : 052-624-4389

メール : biosupport@filgen.jp URL : <https://filgen.jp/>